

# 令和6年度学区要望事項の回答

( 総務局・スポーツ市民局 )

1/4

中川区  
愛知一①

・「名古屋市役所DX基本方針」にもとづく、4つの領域13の施策と紐づく事業展開のうち、領域④：組織・風土の施策13「デジタル人材」育成の範疇にカバーされる、地域活動への展開の中心となる「区政協力委員制度」のDX(変革)推進役となるDX化推進リーダーの制度化。

・「地域住民のDXマインド・リテラシーの醸成」を図る学区内DX推進リーダーの育成

・「情報システムの安全性と個人情報データの適正な取り扱いの確保」と行政のDX化推進を図り、それを維持・継続するには、学区内にある程度専門的に対処できる4～5名のDX化推進リーダーの選任・設置が必須であり、「身分・職務及び任期・報酬」を明確にし、委嘱状を交付する制度化を図り、「デジタル人材」の育成により名古屋市役所&市民のDX推進を加速する。

・「地域活動のDX推進リーダー」の制度化を早急に実現して頂きたく再々度要望します。

「名古屋市ICT活用に関する基本方針」から「名古屋市役所DXの推進」方針へ飛躍したことを高く評価します、合わせて要望事項名を変更させて頂きました。

本市では、令和4年3月に「名古屋市役所DX推進方針」を策定し、デジタルの活用を前提にあらゆる市民サービスや市役所の業務を「変革」し、市民一人ひとりにより適したサービスを提供することを目指す姿として掲げ、取組みを進めているところです。

【総務局】

地域活動においてICTを活用することは、負担軽減や新たな情報発信機能の強化などメリットが大きい可能性があることから、その活用が進むよう、本市も支援しているところですが、地域によって実情が異なることから丁寧に進めていく必要があるとも考えております。まずは、ICT活用の意識を醸成するため、ICT活用体験会・相談会を開催しているところです。また、令和5年10月より各区役所に配置している地域コミュニティ活性化相談員(コミサポ)を活用し、地域団体のニーズに応じて講習会等を開催するほか、地域の先進事例等を市公式noteで紹介する取組みを開始したところです。

本市といたしましては、各区における取組み等も参考にしながら、引き続き、ニーズの把握や先行事例の調査等を行い、地域活動はじめ、全市におけるICTの活用が進むよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

【スポーツ市民局】

中 川 区  
愛 知 一 ②

名古屋市高速道路黄金インター出入道路と交差する「運河通3丁目交差点信号機を歩車分離方式とする。」

インター出入車両が運河通3丁目交差点にて、右折&左折によりインター出入道路へ通行し、横断歩道にて歩行者と交差し、歩行者と運転手が目視確認しながら通行する状況にあり極めて危険である。信号機付き交差点内でありながら、信号表示通りにもかかわらず危険で安心して通行できない。早急に横断歩行者と右左折車両との完全分離信号方式への変更を要望します。過去に歩行者と自動車との接触事故及び右折車両間の追突事故も多々発生しています。すでに令和5年5月17日に中川警察署交通課交通規制係へ要望書を提出済です。

日本の交差点では、毎年全交通事故の40%以上が発生しています。歩行者はその危険な交差点で自らの身を守るため青信号の横断歩道を選んで渡ります。本運河通り3丁目交差点は高速道路へ出入する車の100%が右左折車です。青信号の右左折車両と青信号の歩行者&自転車が横断歩道上で交差し、青信号でもあるにもかかわらず双方が目視にて安全を確認し通行している状況です。歩行者の安全を右左折してくる不確実な人間(車の運転者)の注意力のみにたよる大変危険な交差点であります。交差点での死傷者事故は「青信号歩行者&自転車」と「右左折自動車」による巻き込み事故がもっとも多発している事は周知の統計的事実です。

それにもかかわらず、昨年度の中川警察署の回答書は「歩行者の安全な横断歩道の通行より、通行車両の渋滞が悪化し交差点が機能しなくなる恐れがある。」との回答であり「道路交通法第1条」道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、及び……。を無視した、安全よりも車両の渋滞解消対策を優先する回答でした。納得いかず再度要望するものであります。

幸い、重大な死傷者事故は起きていませんが、事故が発生した後に慌てて歩車分離式に変更するといった後手対策にならないよう強く要望致します。

又、添付するPDF資料3/4ページのように警察庁が半年間、全国100箇所の交差点を抽出した歩車分離信号の試験運用の実施結果では、懸念されている交通渋滞はむしろ2%減少したとの報告があります。中川区は交通事故の死傷者数が名古屋市内ワースト3位内の常連です。事故を未然に防ぐ対策として、こうした右左折車両の多い交差点について早急に実施をお願いします。

運河通3丁目交差点の歩車分離式の導入について、歩車分離式信号を導入するためには、歩行者専用の時間を設ける必要があり、現状でも各方面の渋滞が認められる当該交差点に歩行者専用の時間を設けることは、渋滞が悪化し、交差点が機能しなくなるおそれがあります。

道路交通法第1条には、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図ることを目的としており、歩車分離を導入することで円滑の目的が達成出来ないおそれがあります。

この件については、現時点消極的に考えておりますが、現在、名古屋高速において、黄金出入口の整備を踏まえた交通量調査等を実施しており、その結果を踏まえた上で検討を行って参ります。

中 川 区  
愛 知 一 ③

・中川消防署日置出張所の前に「押しボタン式信号機付横断歩道」の設置  
該当箇所は押しボタン信号機の設置には適さない場所との回答がありました  
が、明石通りは運河通&五月通りと同じ6車線道路であります但し通行車両も極  
めて少なく、定周期信号とする必要はないと考えます。通行量も考慮せず地図  
上でみた6車線道路であり押しボタン信号機が適さないと言えるのでしょうか。  
また、出動回数が増加している救急車の南方面出動は北側信号機をUター  
ンし現場へ直行する事となり10秒近く遅延となっている事、周辺に居住す  
る住民は出動サイレンの時間が長くなり睡眠の妨げになっているとの苦情も  
あります。消防署前の中央分離帯の遮断は本来の目的に合っているのか今一度  
再検討して頂きたいと要望します。

また、警察としては、「横断歩道や押しボタン式信号機の設置が事故の危険  
性を高めることは避けなければならない」との回答がありました。当然の考え  
と理解致しますが、交通標識・道路標示で指示・規制のされていない危険で交  
通事故の発生が予測される箇所については、警察署はどのように処置をお考え  
でしょうか？

消防署日置出張所前の中央分離帯の通行遮断は厳重に実施されているが、明石  
通り&中京通りの中央分離帯の植栽が枯れた場所及び柵が壊れた場所は歩行  
者の通行が頻繁にあり、獣道のように雑草が踏まれて道になっている。通行遮断  
柵の修理補修を早急に実施して頂きたいと要望します。 運河通&五月通りの様  
に目立つ白色の柵を植栽との隙間なく設置して頂きたいと要望いたします。

行政の縦割りにより、緑政土木局の担当かと思いますが、すでに一年以上何  
の処置もせず放置してあります。もし交通死傷事故が発生した場合に当事者の  
自己責任の問題とお考えになるのでしょうか？トラロープ等応急的処置でも  
早急に実施願いたく要望致します。

中央分離帯の植栽が枯れた場所及び柵が壊れた場所は、今年度通り抜  
けできないように柵を設置しております。

【緑政土木局】

当該箇所から北方の運河町信号交差点までの距離は、約160メートルで  
信号間の距離が近いことから、車の運転手が信号灯火を誤認し、赤信号  
を見落とすことによる重大事故の発生が懸念されます。

また、要望箇所は、速度規制が行われていない(60キロ規制)6車線  
道路であり、特に夜間は交通量が少なく、流れがスムーズであることか  
ら、押しボタン式信号機を設置した場合、信号の変わり目に停止した車  
に後続車両が追突する交通事故の発生も懸念されるほか、長時間の横断  
時間を確保する必要があり、信号無視を誘発するおそれもあることから、  
信号機の設置については消極的に考えています。

【中川警察署】

中 川 区  
愛 知 一 ④

愛知小学校通学路安全対策について、令和6年度通学路安全対策要望事項として18項目について小学校より教育委員会へ提出しています、特に通学路として大変危険な番号⑤及び⑥～⑨について通学路色別表示により自転車を含む車両運転者へ通学路であることの注意喚起により事故発生の未然防止を図りたく宜しくお願い致します。

番号③安全柵については昨年に乗用車のブレーキ踏み間違えによる、小学校側歩道への乗上事故が発生し小学校の塀を破損しました。幸い休日であり小学生及び歩行者もいなく車と塀の破損事故のみであった。登下校時であったら大変な死傷事故になるおそれがあり、他の小中学校と同様な歩道柵の設置を要望致します。(長良中学校南側、熱田区野立小学校南側)

番号①愛知町41-33の五月通バス停東側の横断歩道及び南からの交差点について、子供達の飛び出しと運河通り通行自動車の交差点停止線がないことにより、自動車と自転車との出会いがしら衝突の危険が大変高い。交差点の三点標示である自動車の停止線及び南方からの一時停止標示を明示して頂きたく要望致します。南側から道路は「スクールゾーン」の白色道路標示でなく「止まれ」の白色道路標示が最適と考えます。尚、愛知小学校からの令和6年通学路安全対策要望事項はすでに中川区土木事務所へ送付済と確認しています、宜しくお願い致します。

各学校におきましては、例年、通学路の安全点検を実施し、PTAパトロールの結果や学区、交通指導員などからの情報も合わせ、要望事項を教育委員会に提出し、ハード対策につなげています。また、年度途中でも交通事情の変化や工事実施などにより、安全指導上の問題が発生した場合は、学校から直接区土木事務所や所轄警察署交通課へ改善要望を提出し、対応を求めています。

【教育委員会】